

友だち・仲間の本

友だちってどんな存在？一緒に笑ったり、時には嫌なことを言い合ってケンカしてしまったり…。でも仲直りするとやっぱり心が温くなる。子どもにとっても大人にとっても、友だちはかけがえのない存在。そんな素敵な「友だち」について考えることのできる本を集めてみました。

【絵本・しらべ】

あなた 谷川 俊太郎／文 長 新太／絵 福音館書店	「わたし」はひとりですが、たくさんの「あなた」に出会います。社会はひとりの「わたし」と、たくさんの「あなた」の集まりです。詩的な言葉とユーモラスな絵で、人間の本質的な疑問に答えます。
あのときすきになったよ 薫 くみこ／さく 飯野 和好／え 教育画劇	あの子と何で仲良くなったんだろう？嫌いだと思っていた同じクラスの子、小さな事件をいくつか乗り越えるうちに、少しずつ仲良くなっていく少女たちの心の交信を描きます。
あらしのよるに 木村 裕一／作 あべ 弘士／絵 講談社	嵐の夜、壊れかけた小屋でヤギとオオカミがはち合わせ。小屋の中は真っ暗で、お互いに相手が誰だかわかりません。2匹はおしゃべりをしていくうちに…。
いまからともだち くすのき しげのり／さく たるいし まこ／え 東洋館出版社	転校ばかりのはるかちゃん。 2年生になってもう2回目。こんな田舎の学校、本当は来たくなかった。でもみんなが優しくしてくれて…。
きみなんかだいきらいさ ジャニス・メイ・ユードリー／ぶん モーリス・センダック／え 富山房	いつも仲良しの友だちと今日は大げんか。もう口なんかきいてやるもんか、と思ったけれど…、やっぱり気になる。子どもの心理が分かりやすく描かれたロングセラー。
くれよんがおれたとき かさい まり／さく 北村 裕花／え くもん出版	友だちのゆうちゃんが、私の大切なクレヨンを折ってしまった。買ったばかりのクレヨンだったのに…。次の日、ゆうちゃんが新しいクレヨンを持ってきてくれたけど…。
けんかのきもち 柴田 愛子／文 伊藤 秀男／絵 ポプラ社	仲良しのこうたとけんかした、たいは泣きながら家に帰ります。こうたは謝ってくれたけれど、けんかの気持ちは終わらない。 けんかをした時の気持ちの葛藤を、力強い絵で描きます。
しんせつなともだち 方 軼羣／作 村山 知義／画 福音館書店	食べ物がない寒い冬のことです。お腹がすいたうさぎがかぶを二つ見つけました。ひとつだけ食べて、もうひとつは、お腹をすかせたろばに届けました…。
しんゆうだけどだいきらい 石山 さやか／作・絵 岩崎書店	親友のみかりはおしゃべりが大好き。おっとりしたしずくはいつも話を聞くばかり。「みかりちゃん、ちっとも私の話を聞いてくれない！」好きだけど嫌いなこの気持ち。親友ってなんだろう…。
ぜっこう 柴田 愛子／文 伊藤 秀男／絵 ポプラ社	かくは、しゅんたろうと絶交しました。もう絶対に遊ばないってきめたんだ。だけど…。「あそび島」を舞台に、他者と真剣に向き合おうとする子どもたちの気持ちを描きます。

ともだち 谷川 俊太郎／文 和田 誠／絵 玉川大学出版部	1人ではできないことも、友だちと力を合わせればできる。好きな物がちがっても、言葉が通じなくても友だち。会ったことのない、遠い国の友だちが困っていたら、どうやって手助けできるかな。
ともだち 太田 大八／作・絵 講談社	けんかが強いしまるくん、背の高いかなもりくん、暗算が得意なけいこちゃん、図画はまつだくんがいちばん上手…。20年後、クラスの友だちはどうなっているかな？
ともだち ヘルメ・ハイネ／作 ほるぷ出版	おんどのりのフランツとねずみのジョニーとぶたのヴァルデマールは大の仲良しです。自転車で朝の散歩に出発！池でボートにのったり、さくらんぼを食べたり…。何でも話しあい、助けあう。だって友だちだもの！
ともだちのしるしだよ カレン・リン・ウィリアムズ／作 ダーグ・チャーカ／絵 岩崎書店	リナは片方だけのサンダルを見つけました。そして、もう片方を持っていたのは足を腫らした少女でした。難民キャンプに暮らす少女たちの友情物語。
ともだちほしいなおおかみくん さくら ともこ／作 いもと ようこ／絵 岩崎書店	げんき森にすんでいるおおかみくんは、本当はとっても優しい。だけど、森のどうぶつたちは、おおかみくんを怖がって遊んでくれません…。
ともだちや 内田 麟太郎／作 降矢 なな／絵 偕成社	ある日、キツネは「友だち屋さん」を始めることを思いつきました。1時間100円で友だちになってあげるのです。そこにおおかみがやってきて…。「ごめんねともだち」等、最高傑作シリーズです。
ともだちやもんな、ぼくら くすのき しげのり／作 福田 岩緒／絵 えほんの杜	カブトムシを見つけた3人は、木に登ってつかまえようとしてますが、カミナリじいさんに見つかってしまいます。そして1人だけ逃げ遅れてつかまってしまい…。夏休みの友情物語。
ともだちをたすけたゾウたち わしお としこ／文 遠山 繁年／絵 教育画劇	象のアヌーラが病気になりました。横になることもできず、どんどん弱っていきます。そのとき、仲間の2頭の象が…。多摩動物公園で実際にあった、心温まるおはなしです。
トラネコとクロネコ 宮西 達也／作・絵 鈴木出版	トラネコとクロネコが桃を取り合って大ゲンカ。自分のほうが優れていると自慢したり、お互いの苦手なところを責め合ったり。最後にはかけっこで勝負することになりますが…。
とんことり 筒井 頼子／さく 林 明子／え 福音館書店	かなえは引越して知らない街にやってきました。荷物の整理を手伝い、疲れて座っていると「とんことり」と玄関のほうから音がしました…。
ないたあかおに はまだ ひろすけ／ぶん いけだ たつお／え 偕成社	村人と仲良くしたい赤おにと、その願いをかなえてやろうと、悪者になる青おに。やがて村人たちは赤おにの家を訪ねるようになりますが…。失ってはじめて気づく大切なものとは？
にじいろのさかな マーカス・フィスター／作 講談社	虹色に輝くうろこを持った、世界で一番美しい魚がいました。でもひとりぼっちでした。ある日、にじいろのさかなは、悩みをヒトデに打ち明けます…。

はしのうえのおおかみ 奈街 三郎／作 花之内 雅吉／絵 鈴木出版	うさぎが一本橋を渡っていくと、おおかみが「おれがさきだ。もどれもどれ」と大いばり。きつねもたぬきも渡らせてもらえません。そんなある日、大きなクマがやってきました。
ふたりはともだち アーノルド・ローベル／作 文化出版局	仲良しのがまくんとかえるくんの、可愛くて、ちょっぴり切ないおはなし。子どもから大人まで、たくさんの人々に40年以上も愛されてきた作品です。
ぼくとおおはしくん くせ さなえ／作 講談社	夏休み、ぼくは引越してきたばかりのおおはしくんに会った。ぼくたちは、橋の下の秘密基地で、かめの“かめた”を飼うことになったのだけど…。
やさしさとおもいやり 宮西 達也／作・絵 ポプラ社	むかし、山の上に赤い実のなる木がありました。お腹をすかせたティラノサウルスとゴルゴサウルスがやってきてけんかをはじめますが、山がくずれて下りることができなくなってしまいました。
こころを育てる魔法の言葉 2 中井 俊己／文 汐文社 （しらべ）	人と人をつなぐ言葉。たとえかんたんな言葉でもやさしい言葉は心があたたかくなります。偉人や作家たちが語る「やさしくなれる言葉」を解説とともに紹介します。
そんな友だちなら、いなくなってもいいじゃないか! 斎藤 孝／著 PHP研究所 （しらべ）	遊ぶ友達がたくさんいないと不安?でも、ちょっと待って!互いに磨きあい、伸ばしあう関係はだれにとっても大切です。本当の友だちをつくっていく心構えを紹介します。

【読み物】
小学1～2年

ライギョのきゅうしょく 阿部 夏丸／作 講談社	「ライギョはタナゴを食べる」魚学校でそう教えられた仲良しのライギョとタナゴ。2匹は困ってしまいました。ライギョとタナゴの心温まる友情物語です。
けんかにかんぱい！ 宮川 ひろ／作 童心社	あたらしいクラスになって、係をきめるとき、和人は自分で考えて、黒板に「けんかとめ係」と書きました。ところが先生は「けんかはとめるものではないぞ」というのです。よくわからない和人でしたが…。

小学3～4年

こだわっていこう 村上 いいこ／作 学研プラス	物知りで、時々「こだわりスイッチ」が入る、そうまくん。ある事件のせいで、お母さんに「そうまくんと、もう遊んじゃだめ」と言われてしまい…。そうまくんは、ぼくの友だちなのに！どうして…？
それいけズッコケ三人組 那須 正幹／作 ポプラ社	花山第二小学校六年のハチベエ、ハカセ、モーちゃんはそれぞれ個性の違う三人。そんな三人が様々な出来事に出会いながら笑ったり、時にはケンカしたり…。そしてだんだんと仲良くなっています。
シールの星 岡田 淳／作 偕成社	3年生のクラスでは100点をとるとシールの星がもらえます。でも、しんちゃんは勉強が得意じゃないからまだゼロです。そこで一平とマアコは考えました…。
ピトゥスの動物園 サバステシア・スリバス／著 あすなろ書房	仲良し6人組の最年少ピトゥスは治すのが難しい病気になってしまいます。そこでピトゥスのためにみんなで考えたのが1日かぎりの移動動物園でした。

小学5～6年

21世紀版少年少女日本文学館 10 走れメロス 太宰 治／著 講談社	暴君ディオニスの囚われの身となった友を救うため「3日で戻る」という約束のもとメロスは走ります。太宰治の不朽の名作です。
ぼくたちのリアル 戸森 しるこ／著 講談社	そいつの名前は璃在(リアル)。ぼくの幼馴染でもあるリアルはかっこよくて学年一の人気者。同じクラスになったぼくは嬉しいけど少し憂鬱。今を生きる子どもたちの姿を軽やかに描きます。
ぼくらの一歩 いとう みく／作 アリス館	足のおそい萌花、学級委員の琴海、大会後に引越しが決まっている克哉、それぞれの思いを抱えながら立ち向かいます。30人31脚の小学生大会で優勝を目指す6年1組の奮闘を描く、爽やかな青春ストーリーです。
わたしの苦手なあの子 朝比奈 蓉子／作 ポプラ社	泳げないミヒロは6年生になっても苦手なことから逃げてばかり。転校生の本間リサはいつもツンとして冷たい態度。でも、ある日ミヒロはリサの秘密を知ってしまいます…。